

## オープンサイエンスに関する STM の立場

### はじめに

「オープンサイエンス」とは科学を実行する方法の変化を説明するために使われる幅広い包括的用語です。研究の実務をより協力的かつオープンにするためのテクノロジーの利用もそこに含まれます。オープンサイエンスは、オープンアクセスやオープンデータ、研究の評価基準、研究の公正性、シチズンサイエンスなど、幅広いテーマに渡っています。

出版社は、学術コミュニケーションの質と利用しやすさを改善する仕事を通じて、各研究者、その研究、および世界をつなぐ役割を果たしています。研究コミュニティとの強力な関係、研究者と社会のニーズに応えるビジネスモデルの進展、技術に関する専門知識、そして革新的な性質などによって、出版社は、オープンサイエンスに関する議論に貢献し、情熱を現実に変換する助けとなる立場にあります。

### オープンサイエンスに関する STM の立場

出版社はすでに、オープンサイエンスに向けての行動計画を補完する数々の活動に従事しています。代表的な取組み内容は以下の通りです。

- **オープンアクセス**：出版社はオープンアクセスに対する持続可能なアプローチを支援し、研究者に対して、研究を発表する幅広い選択肢を提供しています。著者は、出版費用を著者またはその代理人が前払いで負担するゴールド・オープンアクセス・ルートを通じて出版することができます。また、購読料によって雑誌の発行の維持を支援するために一定の猶予期間を置いてから、自分の論文のあるバージョンを公開することもできます。
- **オープンデータ**：各出版社は研究者のデータを FAIR（見つけられ、アクセスでき、互換性があり、かつ再利用可能）にするための支援を行っており、欧州連合オープンサイエンス・クラウドをめぐる議論にも参加しています。出版社はまた、データ引用の原則に関するコミュニティの要請にも積極的に対応しており、多くの出版社が、研究者が自身の成果に対して適切なクレジットを得られるように、データ引用の原則に関する共同宣言（[Joint Declaration of Data Citation Principles](#)）を支持しています。STM 自身も、リサーチデータ・アライアンス（RDA）や APARSEN など、データの引用と保管に関する数多くのプロジェクトに関与しています。
- **研究の評価基準**：出版社は研究努力を評価する新しい、革新的な方法を求める研究者の要請に対応しています。これらのイノベーションはテクノロジーを利用する方法を模索しており、研究者が互いに、また広い世界と関わる方法を反映しています。私たちは様々な堅固な評価基準を使用して全体論的アプローチをとることを好んでおり、査定と評価に有用な役割を果たしうる代替的な評価基準について合意することができたら、より広い研究コミュニティとも協力したいと考えています。

- **シチズンサイエンス**：出版社は、研究者と広範な科学コミュニティ両方と関わるための新しい方法の開発を続けています。その例としては、PatientInformのように、重要な研究を分析した一般向けの要約記事を提供するプログラムや、英国の公共図書館イニシアチブのように、学術コミュニケーションをより幅広い一般読者に開放する取り組みなどがあります。
- **研究の公正性**：責任あるピアレビューは出版プロセスの本質的部分であり、研究の公正性の中心的支柱となります。出版社は、剽窃の検知を支援するソフトウェア（CrossCheck など）に投資しており、著者向けの啓蒙・研修のスポンサーにもなっています。STMは出版社が、ピアレビュー、出版、必要な場合には撤回についても、倫理的原則を持ち、それらに従うことを強く支持しています。そのような原則が、自らが主体となっているものか、STMや出版倫理委員会（Committee on Publishing Ethics (COPE)）、またはその他同様の最低基準を有する協会の基準であるかは問いません。出版のために論文を投稿したいと考えている研究者にとって、STM会員がSTM自身の行動規範に同意していること、またSTMが会員申請を厳格に審査していることを知るのには有益なことでしょう。さらにSTMは、研究者が信頼できる出版社や雑誌を見つけられるよう支援するシンク・チェック・サブミット（ThinkCheckSubmit）という取り組みにも参加しています。

### オープンサイエンスの強化と推進

上記のように、STMとその会員は、オープンサイエンスに向けての行動計画の推進において、既に中心的な役割を果たしています。そして今後もこの議題について、他の関係者たちと協力していくことを楽しみにしています。その意味で、STMは、欧州委員会が新たに発足させたオープンサイエンス・ポリシー・プラットフォームの一部となることを非常に喜んでいきます。

しかし、科学をよりオープンかつ協力的なシステムへと共に推進していくうえで、次のことを忘れないようにすることが重要だと私たちは考えています。

- 著作権法は、科学全般にわたる新たなサービスの開発やイノベーションの障壁となるのではなく、**それらを可能にする**ものです。そのため、著作権はあらゆるオープンサイエンスの枠組みの中で保護され、支援されなければなりません。STMはライセンス供与のオプションを強く推奨しており、それが質の高さと持続性の両方を確保しながらデジタル発行コンテンツの利用を拡大する方法であると考えています。
- STMは、著者が、その専門分野の進歩とともに自身のキャリアにとっても助けとなる可能性が最も高い雑誌を選んで、自身の研究を出版できる自由を持つべきだと考えます。研究助成機関や政府のポリシーが、持続不可能なほど短いエンバゴ（猶予期間）のように過度に制限の強いものである場合、加えてゴールド・オープンアクセスへの資金提供が限られているか全くない状況は、そのような自由を実現する妨げとなります。特に、STMは、研究出版物へのオープンアクセスを奨励するためにHORIZON2020で定められた欧州委員会の計画が、ポリシーの目的の実現に最適化されていないことを引き続き懸念しています。私たちは重要な利害関係者として、研究助成機関、政府、欧州委員会などすべての方々と共に、この重要な議題に今後も関わっていきたいと考えています。
- STM出版社は既存のインフラを利用して、より良好かつシームレスなアクセスを促進する方法を探すために、他の関係者と協力したいと切に願っています。取り組みの重複を避けることは、すべての関係者の共通かつ第一の目標であるはずで、欧州委員会がOSPPワーキング・グループの一つを通じて行っている、オープンサイエンス・クラウドを確立させる取り組みの一つに関しては私たちも支援しており、この取

国際 STM 出版社協会

Prins Willem Alexanderhof 5, Den Haag, 2595BE, NL

www.stm-assoc.org

ハーグにて登録 41200219

り組みが研究データに焦点を当て、既存のインフラと重複するのではなく、それを補完するものになるよう奨励しています。

- 研究コミュニケーションの管理についての私たちの経験では、ボトムアップは常にトップダウンよりも効果的です。研究者と共に働き、研究者の日常の作業に障害を作らないようにすることが重要です。

## 結論

出版社は科学のイノベーションの最前線におり、上記をはじめ、すでにオープンサイエンスの行動計画のために多くの方法で貢献しています。私たちは今後も、欧州委員会や、この重要な分野におけるさらに広範な研究コミュニティなど、すべての関係者と連携していくことを楽しみにしています。

The International Association of Scientific, Technical and Medical Publishers (STM) は、世界で先駆的な役割を果たしている学術・商業出版社の国際的協会です。STMは世界21ヶ国の120を超えるメンバーを有し、すべてのジャーナル論文の約66%並びに何十万のモノグラフやリファレンスを毎年出版しています。STMメンバーには、学術学会、大学出版、商業出版社を含む新興ならびに歴史ある団体が含まれます。

## お問い合わせ先：

STM

Barbara Kalumenos (バーバラ・カルメノス)

Prima House

267 Banbury Road

Oxford, OX 2 7HT, UK

Eメール：[Kalumenos@stm-assoc.org](mailto:Kalumenos@stm-assoc.org)

<http://www.stm-assoc.org>

国際 STM 出版社協会

Prins Willem Alexanderhof 5, Den Haag, 2595BE, NL

[www.stm-assoc.org](http://www.stm-assoc.org)

ハーグにて登録 41200219